

7	単元名	カレンダー
---	-----	-------

1 指導目標

日本の1年間の生活リズムを覚え、楽しい生活を送るための基礎として「曜日」「週」「月」「日」の意味と言い方を知り、日常生活の中で使えるようにする。

2 指導内容

- (1) 「日曜日」から「土曜日」に関連した言葉の意味と言い方を覚えさせる。
- (2) 「1日（ついたち）」から「31日（さんじゅういちにち）」に関連した言葉の意味と言い方を覚えさせる。
- (3) 「1月」から「12月」に関連した言葉の意味と言い方を覚えさせる。
- (4) 「四季」と身近な年中行事の意味と言い方を理解させる。

3 指導計画

時間	主な学習内容	指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> ○「日曜日」から「土曜日」の言葉の意味を知り、言い方を覚える。 ○「日曜日」から「土曜日」を平仮名で書く。 ○「1月」から「12月」の言葉を知り、言い方を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母語に対応させて理解させるようにする。 ・児童・生徒の実態に応じて漢字も指導する。 (母語が漢字圏の児童・生徒には、平仮名より漢字から入る方が効果的なことも多いということを考慮する。) ・「4月」は「遠足」、「5月」は「運動会」、「6月」は「移動教室」というように、それぞれの月の学校行事を関連付けて指導する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○「1日」から「31日」の言葉を知り、言い方を覚える。 ○「ついたち」「ふつか」・・・「このか」「とおか」といった特別な読み方があることを知る。 ○日本の四季「春」「夏」「秋」「冬」の言葉を知り、身近な季節の行事について、その意味と言い方を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日（ついたち）など特別な読み方をする日も、児童・生徒の実態に応じて「いちにち」といった読み方も可とするなどの配慮をしながら指導を進める。 ・「ついたち」などの読み方は日々頻繁に使われるので、意識的に指導を重ね、定着させる。 ・母語に対応させたり母国の学校生活に関連付けたりして、日本語での言い方を覚えるようにさせる。

	○カレンダーを見ながら覚えたことを中心に話題を広げ、日本語の語彙を増やす。	・「正月」「鯉のぼり」「ひな祭り」…など、子供に関わる楽しい行事を教え、興味をもたせるようにするとともに、進んで参加する意欲を育む。
--	---------------------------------------	--

4 指導のポイント

- (1) カレンダーの読み方（月、曜日など）を覚えることは、学校生活に早く慣れる上で大切なことであり、来日してなるべく早い時期に指導したいものである。指導に当たっては、母語と関連させて理解させ、しっかり言えるようにさせたい。
- (2) カレンダーの学習は、日常の学校生活の中で例えば行事予定表の見方等とも関連付けながら意図的に指導を積み重ねることが重要である。
- (3) 「一日（ついたち）、二日（ふつか）、・・・十日（とおか）」といった特別な読み方については、児童・生徒の実態に応じ、過度な負担を掛けないよう、十分に時間をかけて教える。

5 期待される成果等

- (1) 曜日、一か月、一年の言い方、季節と行事の意味や意義、名称を覚えることは、学校生活のみならず家庭生活に役立つ。
- (2) 日本の「四季と季節に合った年中行事」に興味をもち、進んで身近な行事に参加する意欲をもたせることができる。

6 補充・発展的な学習課題例

- (1) 「昨日」「今日」「明日」の意味と言い方を覚える。
- (2) 「昨年」「今年」「来年（明年）」の意味と言い方を覚える。
- (3) 「春」「夏」「秋」「冬」（四季）の意味と言い方を覚える。
- (4) 「四季と学校生活」に関連した言葉を増やす。
- (5) 「四季と遊び」に関連した言葉を増やす。
- (6) 「四季と食べ物」に関連した言葉を増やす。

7 実践例

○中国語を母語とする児童

- ・ 「にちようび」「かようび」（一週間）…を「星期日」「星期二」…のように母語に対応させながら学ばせた。
- ・ この児童は漢字（簡体字）が得意だったので、「にちようび」を「日曜日」のように、平仮名より漢字を優先した指導を重点とした。
- ・ 次に「一日」「二日」（一ヶ月間）…、「一月」「二月」（一年間）の指導を重ねた。
- ・ それぞれの月に行う在籍校の学校行事も関連付けて覚えられるように工夫した。
- ・ 更に「春夏秋冬」（四季）について、身近な年中行事、例えば「新年」など中国での生活習慣と対比させて覚えるようにした。

指導を重ねた結果、日本の年中行事への理解が深まり、夏祭りや花火大会などの地域行事に自分から進んで参加するようになり、友人関係を積極的に築けるようになった。

曜日名と月名を覚えよう

いっしゅうかん

★一週間

..... one week

Sun (日)	Mon (月)	Tues (火)	Wed (水)	Thu (木)	Fri (金)	Sat (土)
にちようび	げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび

いちねん

★一年 (十二ヶ月)

..... one year

1月 January	2月 February	3月 March	4月 April	5月 May	6月 June
いちがつ	にがつ	さんがつ	しがつ	ごがつ	ろくがつ

7月 July	8月 August	9月 September	10月 October	11月 November	12月 December
しちがつ	はちがつ	くがつ	じゅうがつ	じゅういちがつ	じゅうにがつ

ひとつきの よみかた(1から31までのかず)

1日	ついたち	11日	じゅういちにち	21日	にじゅういちにち
2日	ふつか	12日	じゅうににち	22日	にじゅうににち
3日	みっか	13日	じゅうさんにち	23日	にじゅうさんにち
4日	よっか	14日	じゅうよっか	24日	にじゅうよっか
5日	いつか	15日	じゅうごにち	25日	にじゅうごにち
6日	むいか	16日	じゅうろくにち	26日	にじゅうろくにち
7日	なぬか / なのか	17日	じゅうしちにち	27日	にじゅうしちにち
8日	ようか	18日	じゅうはちにち	28日	にじゅうはちにち
9日	ここのか	19日	じゅうくにち	29日	にじゅうくにち
10日	とおか	20日	はつか	30日	さんじゅうにち
				31日	さんじゅういちにち

にほんの「はる」「なつ」「あき」「ふゆ」を たのしもう。

きせつ	がっこうのぎょうじ	みんなのあそび	おいしいたべもの
はる			
なつ			
あき			
ふゆ			